

授業題目：幼年期福祉演習

担当教員：檜田美雄

レポート題目：期末レポート

所属：人間教育専攻人間形成コース

学年：1年

氏名：佐々木 智美

提出日：平成23年1月24日

授業中のトラブルに関する相互行為分析

1. 課題内容

後期集中講義「幼年期福祉演習」の授業開始前に生じたトラブルに関する動画データに基づいて、トランスクリプトを作成し、分析を行う。その際に、動画データとして、1分以上のトランスクリプトを作成し、静止画を抽出する。

2. 動画内容

本レポート作成にあたり、抽出した動画は、幼年期福祉演習のある授業開始直前に生じたトラブルの場面である。

3. トランスクリプトと静止画

3-1. トランスクリプトの条件

引用データ：幼年期福祉演習 授業開始直前の風景

引用時間：01：37：00～01：38：48

登場人物：教師（T）、履修生（A,B,C,D,E,F）、研究生（G）

3-2. トランスクリプト

資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料

01 T：>わかりました<。

>でしたら< あ[の；；

((うなずきながら電話をしている))

02 C： [これこれが [()

((ペンを置く))

資料

03 T： [えっと；； [20；(.)20；

CC

04 D： [()

((ペンを指さす))

CCCCCCCCCCCC

05 E：赤と；オレンジ？

06 C：[で； ()んで；[(.)えっと；

07 D：[°う；ん°

((うなずく))

資料

08 T： [>ええ<。(3.0) >はい<。

資料

[>そしたら<(.)25に発送が；できますよね？

09 C : [() とか ;

資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料

10 T : ° うん (.) それで ; ° > はい < !

25、26 大学のほうにいますので ; ; ° はい° 。

11 T : [はい。 大丈夫です ;

((うなずく))

12 C : [()

BBBBBBBBBBBB

13 E : [° なるほど°

14 T : [じゃあ よろしくということで ;

15 T : 吉田先生の研究[室にお届けする () を 24 の月曜正午ということで ;

BBBBBBBBBBBBBBBBBBBB

16 E : [ああ ;

BBBBEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEBBBBBBBBBB

17 D : () [h h h h h

DDDDDD

18 C : [h h h h h

((うなずく))

BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB

19 E : [h h h h h

20 C : で ; ()

21 T : [> ええ < 。 (1.0) はい。お願い致します ;

大変細かいことで申し訳ありませ ; ん

° ええ° お世話になります ; す。

((電話を切る))

22 C : [()

生徒生徒生徒生徒生徒生徒生徒生徒生徒生徒性生徒生徒

23 T : [すみません。再開しようと思いま ; す。

DD TT DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD

24 C : [([()

CC TT CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

25 D : [ああ ;

- 41 B：上書きになって[て；
BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB
- 42 E： [ええ！
EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE
- 43 B：なんかこれを残したばかりにそいつが消えてて；
-
- BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB
- 44 E：う；わ；(2.0) せっかくつくったのに；
BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB
- 45 G：じゃあまた作り直さなきゃいけないの？
GGGGGGGGGG 資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料資料
- 46 B：° は；い° (.) でも()とりあえずできているんで
((うなずく))
資料資料資料資料 GGGGGGGGGG
とりあえずは1回作ったからも1回
BBBBBBBBBB
- 47 E：記憶を探って
EEEEEEEEEEEE
- 48 B：h () h h[h h
BBBBBBBBBBBB
- 49 D： [h h

資料

50 T：えっと；；すみません(.)再開いたしますが予定の変更を；；そ；；
お願いいたします。

3-3. 静止画

3-3-1 登場人物

図1 最初の場面状況



図2 Bが入室した時の場面



4．分析結果

4-1．引用データ選択理由

授業を開始する直前に生じたトラブルに対し、どのように周囲は受け入れていくのか、トラブルを発生させた人はどのように適切な行為をしているのかを見ることができると思い、選択した。

4-2．自己分析

最初の段階では、まだ休憩中ということもあり、教師は電話をして、生徒は各々の行動をとっている。そのため、教師が電話をしている間にも、CDEはお互いの会話に夢中になっている。つまり、休憩中であるという認識はこの場にいる皆に理解されているのだ。

また、図2でわかるように、後から入室したBは椅子の背に両手を置き、頭を下げ見るからに「がっかり」した様子である。この行動はこれからBがトラブルを説明する前の段階であり、何か問題が起きているということ表現していると考えられる。

その後、23で教師は授業再開の意思を言葉で伝えているが、CDは会話をやめない。教師が発言したときに一瞬視線を配ってはいるが、互いの会話を終了する準備ができていない、または拒否しているのであろう。さらに26～29にわたってBが教師に対し、発言する。ここで起きたトラブルに対し、教師は説明の途中にも関わらず相槌を打ち、理解を示している。そのとき、30ではまだCDEは互いの会話をやめていない。しかし、Bが「印刷するとき・・・」と言い出すと会話が一瞬でなくなり、その後の話題がトラブル中心に成されている。そして、Bが38で笑っているが、これは理解の共有を求めたものではないだろうか。それに対し、笑うものはいなく、感嘆を表現するものが多かった。この場で笑うことは不適切な好意とされ、Bが理解の共有を求めたのに対し、39や44のように表現することが適切な行為となっており、理解を示していることとなるのであろう。

その後、Bは46で前向きにトラブルに対処する意志を示している。それに対しEが47で発言し、Bが48で笑っている。その笑いが生じ、Dも一緒に笑っていることから、理解の共有とトラブルの深刻さが軽減したように思われる。

最後に教師は50でもう一度授業の再開を示している。ここでは、最初に「すみません」ということで履修者の会話の間に入るということを適切に示している。このように、トラブルが起きた状況の中にも、それぞれ適切といえる行為をしているのである。

5．まとめの感想

約2分程度の動画をトランスクリプトしたが、休憩場面ということもあり、多くの会話や行動が記録されており、非常に時間がかかった。今回の映像はビデオカメラのみを使用したため、聞き取りにくい音声がよくあったことが反省点となる。

また、日常に行われている様々な事柄をどのような意味が含まれているのか、どのように適切に行っているのか見るといった観点は非常に面白かった。